

No.	017	—	2003	事務事業名	集落排水使用料及び分担金徴収事務	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	上下水道課	係名	料金係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	jogesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 9 年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(6) 下水道事業の健全運営				
	事業の対象	農業集落排水施設使用者及び農業集落排水事業受益者				根拠法令	東温市農業集落排水施設設置条例、東温市農業集落排水事業分担金徴収条例						
	事業の目的	最終的	施設使用料及び事業分担金を適正に賦課するとともに、収納率を向上させます。			今年度	水道事業や債権管理室と連携し、収納率の向上に努めます。						
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳への登録を行います。			④							
		②	検針データに基づき、施設使用料を賦課徴収します。			⑤							
		③	受益者に対して、事業分担金の賦課徴収を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標			
		現年度使用料徴収率	収納額/調定額		%	目標	100	100	100	100			
			%	実績	99	98							
現年度分担金徴収率		収納額/調定額		%	目標	100	100	100	100				
				%	実績	100	100						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	農業集落排水特別会計			費目名	農業集落排水事業			費			
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	803 千円		861 千円		867 千円						
	計(A)	803 千円		861 千円		867 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.035 人	210 千円	0.035 人	215 千円	0.035 人	218 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	1,013 千円		1,076 千円		1,085 千円							
一次評価者	料金係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、受益と負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。												
有効性	事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。												
達成度	徴収率は高い数値ですが、未納者も発生していることから、有効な対策を講じる必要があります。												
効率性	徴収事務を水道事業に委託し、一体徴収とすることで、事務の効率化を図っています。												
当面の課題	受益と負担の公平性の観点から、引き続き収納率の向上に努める必要があります。												
改 革 画	未納が発生した際に、水道事業と連携しながら早期に対応することで、新規滞納者の抑制に努めます。												
二次評価者	上下水道課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性の確保と経営の健全化のため大切な事務事業です。水道事業や債権管理室と連携し、滞納整理に努めて下さい。												

No.	017	—	2004	事務事業名	下水道使用料、賦課徴収及び負担金関連事務			細事務事業名				公的関与	3
PLAN	課名	上下水道課	係名	料金係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	jogesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 13 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(6) 下水道事業の健全運営				
	事業の対象	公共下水道使用者及び公共下水道受益者				根拠法令	下水道法、東温市公共下水道条例、同受益者負担に関する条例						
	事業の目的	最終的	下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課するとともに、収納率を向上させます。			今年度	水道事業や債権管理室と連携し、収納率の向上に努めます。						
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳への登録を行います。			④	土地所有者へ申告書を送付し、受益者を確認します。						
		②	検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。			⑤	受益者に対して受益者負担金の徴収を行います。						
		③	新規供用開始区域について、負担金賦課区域の公告を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標			
		現年度使用料徴収率	収納額/調定額		%	目標	100	100	100	100			
				実績	99	99							
現年度負担金徴収率		収納額/調定額		%	目標	100	100	100	100				
					実績	99	100						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	公共下水道特別会計			費目名	公共下水道事業			費			
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	1,335 千円		1,195 千円		1,156 千円						
		一般財源	6,505 千円		7,170 千円		7,225 千円						
	計(A)	7,840 千円		8,365 千円		8,381 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.906 人	5,447 千円	0.893 人	5,475 千円	0.893 人	5,573 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	13,287 千円		13,840 千円		13,954 千円							
一次評価者	料金係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、受益と負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。												
有効性	事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。												
達成度	徴収率は高い数値ですが、未納者も発生していることから、有効な対策を講じる必要があります。												
効率性	徴収事務を水道事業に委託し、一体徴収とすることで、事務の効率化を図っています。												
当面の課題	受益と負担の公平性の観点から、引き続き収納率の向上に努める必要があります。												
改革計画	未納が発生した際に、水道事業と連携しながら早期に対応することで、新規滞納者の抑制に努めます。												
二次評価者	上下水道課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性の確保と経営の健全化のため大切な事務事業です。水道事業や債権管理室と連携し、滞納整理に努めて下さい。												

No.	017	—	2046	事務事業名	(上水)滞納整理業務	細事務事業名	料金の滞納整理及び不納欠損事務	公的関与	3				
PLAN	課名	上下水道課	係名	料金係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	jogesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(3)水道事業の健全運営				
	事業の対象	水道料金滞納者				根拠法令	東温市水道事業給水停止処分に関する規程等						
	事業の目的	最終的	収納率100%を目指します。			今年度	計画的な滞納整理を行います。						
	活動内容	①	滞納者の抽出。				④	給水停止措置を含めた催告通知書等の発送。					
		②	督促状の発送。				⑤						
		③	面談通知書の発送。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標		
		収納率		収納額/調定額			%	目標	100	100	100	100	
						実績	90	91					
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	水道事業会計			費目名	上水道事業			費			
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考					
		国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円					
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円					
		一般財源		0 千円		0 千円		0 千円					
	計(A)		0 千円		0 千円		0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.251 人	1,509 千円	0.215 人	1,318 千円	0.215 人	1,342 千円					
		臨時職員工数・経費	0.107 人	211 千円	0.042 人	83 千円	0.042 人	83 千円					
	全体事業費(A+B)		1,720 千円		1,402 千円		1,425 千円						
一次評価者	料金係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	2	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	公平性の観点から、水道料金の滞納は認められず、収納率100%を目標として、事業実施の必要があります。												
有効性	督促状の送付、給水停止措置を含めた催告通知を継続して送付していく必要があります。下水道使用料担当者や税務課債権管理室との連携を強化していく必要があります。												
達成度	目標については、概ね達成しており、収納率向上のため、更に計画的な滞納整理を実施していく必要があります。												
効率性	中長期的な滞納整理計画の作成と継続可能な滞納整理の実施が必要です。												
当面の課題	中長期的な滞納整理計画作成、水道料金の計画的な滞納整理が必要です。												
改革計画	水道料金の滞納者に対して、給水停止措置を含めた催告通知を送付するなどして、公平性確保を図りながら、計画的で効率的な滞納整理対策を検討します。												
二次評価者	上下水道課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性の確保と経営の健全化のため大切な事務事業です。給水停止や司法の活用を含め、新たな視点で滞納整理に努めて下さい。												

No.	017	—	2047	事務事業名	(上水) 検針事業	細事務事業名	検針及び未検針・異常水量等の確認事務	公的関与	3
-----	-----	---	------	-------	-----------	--------	--------------------	------	---

PLAN	課名	上下水道課	係名	料金係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	jogesuido@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(3) 水道事業の健全運営			
	事業の対象	各戸水道メーターの検針				根拠法令	東温市水道メーター一点検委託事務委託規則					
	事業の目的	最終的	未検針件数、検針誤り件数0を目指します。			今年度	未検針件数、検針誤り件数0を目指します。					
	活動内容	①	使用者名義の異動処理、新規加入者登録処理。				④	未検針メーター再検針。				
		②	検針台帳の作成、ハンディターミナル準備。				⑤	異常水量表示者再調査。				
		③	検針業務。									
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		未検針、検針誤り件数		各戸水道メーターの未検針、検針誤り件数			件/1期	目標 0	0	0	0	
						実績 20	20					
						目標						
						実績						
						目標						

DO	予算費目	会計	水道事業会計				費目名	上水道事業				費
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考					
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円						
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円						
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円						
		一般財源		6,724 千円	6,900 千円	7,124 千円						
		計(A)		6,724 千円	6,900 千円	7,124 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.272 人, 1,635 千円	0.177 人, 1,085 千円	0.177 人, 1,105 千円						
		臨時職員工数・経費		0.000 人, 0 千円	0.000 人, 0 千円	0.000 人, 0 千円						
	全体事業費(A+B)		8,359 千円		7,985 千円	8,229 千円						

CHECK-ACTION	一次評価者	料金係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	正確な水道料金徴収のために必要です。未検針となっている所は、検針環境を整える方法を検討します。													
	有効性	正確な水道料金徴収ためには必要ですが、一層の効率性を追求する必要があります。													
	達成度	未検針及び検針誤りについて、発見後すぐに調定変更、還付等を行っており、概ね目標は達成していますが、効率性を検討する必要があります。													
	効率性	概ね目標は達成していますが、検針環境を整えるよう実施手段等を検討する必要があります。													
	当面の課題	メーターの上に車がある等、検針環境が整っておらず、再度訪問となる場合があります。													
	改革計画	住民に対し、検針環境の整備をするよう通知を行い、可能な限り再訪問は行わないようにします。また、検針できない家に対しては、検針期間中複数回訪問し、環境改善を促すよう指導します。													
	二次評価者	上下水道課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	上下水道料金賦課徴収の基礎となる大切な事務事業です。お客様や検針員さんとの調整を通じて、効率的な業務に努めて下さい。													